

令和元年度

全国衛生管理者協議会総会

議 事 録

1 日 時

令和元年 5 月 29 日（水） 13 時 30 分～14 時 30 分

2 場 所

J Aビル 3 階 301 会議室

3 出席者

会 員：	出席 30 会員	委任状 10 会員	欠席 3 会員	計 43 会員
役 員：	会長、副会長、次期会長			計 3 名
オブザーバー：	全国衛生管理者協議会事業検討委員会			1 名
	その他オブザーバー			2 名
事務局：	中央労働災害防止協会			3 名

4 来 賓

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長 神ノ田 昌博殿

5 総会成立の報告

総会成立について、司会（事務局：中災防技術支援部平川次長）から次のとおり報告を行った。

現在の会員数 43 会員のところ、本日の出席者が 30 会員、委任状提出者が 10 会員、欠席者が 3 会員であり、全国衛生管理者協議会会則第 12 条第 3 項の総会成立要件である過半数の出席を満たし、令和元年度総会は成立している。

6 開会挨拶

全国衛生管理者協議会の阿部研二会長から次のとおり挨拶があった。

本日は、ご多忙中のところ全国衛生管理者協議会総会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

平素、会員の皆様には本協議会の事業運営に対して多大のご協力、ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、本日は、厚生労働省から、労働衛生課長の神ノ田様にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

本協議会は、衛生管理者に対する労働衛生に係る各種情報の提供や研修会開催等の活動の促進支援等を行いながら、衛生管理者の資質向上を図ると共に、事業場における労働衛生管理体制を充実させることを目的に平成 6 年に設立され、今年で満 25 年を迎えることになりました。

これも一重に会員の皆様と全国の衛生管理者の皆様の本協議会へのあたたかいご理解とご支援の賜物と感謝を申し上げる次第です。

さて、衛生管理者が直接・間接にかかわる問題が多くあり。今後は、衛生管理者に求められる資質も重要であり、そのためには教育が重要です。

今年度は、事業検討委員会を中心に、衛生管理者の能力向上教育のあり方について検討予定で、皆様にもアンケートでご協力いただく予定です。

最後に、会員の皆様方のご協力、ご支援をお願いすると共に、会員の皆様方のご発展と更なる衛生管理者の資質向上と事業場における衛生管理水準の向上に期待しまして、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

7 祝辞

厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長神ノ田昌博殿より次のとおり祝辞があった。

本日、全国衛生管理者協議会総会の開催、誠におめでとうございませう。まずもって、心よりお慶び申し上げます。

また、阿部会長はじめ、本日御参集の皆様方におかれましては、平素より産業保健行政の推進に格別の御理解・御協力をいただき、またそれぞれのお立場で御尽力いただいているところであります。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、今、産業保健は大きな転換期を迎えております。

御案内のとおり、昨年6月に働き方改革関連法が成立しました。70年ぶりの労働法制の大改正が行われました。その重要な柱の一つが、改正労働安全衛生法による「産業医・産業保健機能の強化」です。

今回、産業医・産業保健機能の強化が図られることになった背景には、電通の過労自殺事案が社会問題化したことが挙げられます。

専属の産業医が選任されている大企業において、なぜ、過労自殺を防ぐことができなかったのか。電通という個別企業の問題として矮小化するのではなく、制度的な問題があるのであれば、抜本的な見直しをすべきではないか。当時の塩崎大臣からの指示を受け、今回の制度改正に至ったわけでありませう。

既に、この4月に改正労働安全衛生法は施行されておりますが、これにより、産業保健がどのように変わり、また今後、どのような成果を上げていくのか、大きな期待が寄せられているところであります。

これはラストチャンスであり、産業保健を変えることができなければ、制度そのものの存在意義を問われるのではないかと、担当課長としては、心配しているところであります。是非、皆様方にも、その危機感を共有していただきたいと思いますと思っております。

過労死の問題だけではありません。官邸の未来投資会議は、高齢者雇用の促進を打ち出しており、これまで以上に職場での安全・健康の確保対策が求められることになると考えております。

また、熱中症対策については、昨年は猛暑の影響もあり、前年よりも死傷者数・死亡者数が倍増しており、13次防の目標達成も難しい状況になってきています。

死亡事例の中には、基本的な予防対策がとられていない事例もあり、熱中症予防対策の徹底が求められています。

産業保健の役割・重要性は高まっていますが、産業医の力だけで対応できるものでは

ありません。衛生管理者をはじめとした産業保健スタッフの皆様方が、密に連携を図り、チームで取り組む必要があると考えております。

このため、厚生労働省においては、昨年度、有識者を参集して検討会を開催し、この3月に「産業保健活動をチームで進める事例集」を作成・公表したところです。

効率的、効果的な産業保健活動を展開するためには、衛生管理者の皆様方の取組が不可欠ですので、是非、この事例集も参考にさせていただき、それぞれのお立場で御尽力をいただきますようお願いをいたします。

最後に、本日お集まりの皆様方の御健勝と、全国衛生管理者協議会の御発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

8 議長選出

会則第12条第2項に基づき、阿部会長が議長に選任された。

9 議事録署名人の指名

本総会の議事録署名人として、次の2名が議長から指名された。

公益社団法人愛媛労働基準協会 専務理事 大西 清 殿
一般社団法人大分県労働基準協会 専務理事 安倍 正之 殿

10 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告の承認を求める件

(1) 平成30年度事業報告の説明

平成30年度事業報告について、事務局長(中災防西田技術支援部長)から、次のとおり説明があった。

ア 事業活動の企画、実施

- ・ 総会の開催について

平成30年5月30日、J Aビル会議室において開催し、平成29年度事業報告、決算報告、平成30年度事業計画(案)、収支予算(案)等について原案のとおり承認された。

- ・ 事業検討委員会等の開催について

事業検討委員会を3回開催し、主に衛生管理者能力向上教育についてのアンケート内容について検討した。

- ・ 会員の実施する勉強会への支援

2会員に対して勉強会に講師派遣を実施した。

イ 衛生管理者の活動する場づくりの促進について

協議会として中央労働災害防止協会への働きかけ及び調整の結果、令和元年同協会全国産業安全衛生大会において、能力向上教育に関するアンケート結果について発表することになった。

ウ 会員の活動に対する援助について

会員活動に関する援助として、43 会員中 22 会員に対し 2,156,939 円の援助を行った。

エ 全国衛生管理者情報交流会

平成 30 年 10 月 18 日、横浜にて開催された中央労働災害防止協会主催の全国産業安全衛生大会分科会終了後、T H P 協議会と合同で情報交流会を開催し、50 名の参加があった。

(2) 平成 30 年度決算の説明

引き続き、事務局長より平成 30 年度決算報告について、次のとおり説明を行った。収入の部は、全て中災防からの活動費援助のみで 2,492,976 円であった。

支出の部は、協議会の運営費（総会、事業検討委員会 3 回等の経費）として 336,037 円、協議会会員への援助金として 22 会員に対して 2,156,939 円、合計 2,492,976 円を支出した。

なお、本年度は参考として全国衛生管理者情報交流会の決算が報告され、収入 216,250 円、支出 216,250 円であるとの報告があった。

(3) 監査報告

生田監事欠席のため、中災防技術支援部平川次長が監査報告を代読した。

(4) 議案承認

質問、意見等はなく、第 1 号議案は承認された。

11 第 2 号議案 令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）の審議の件

(1) 令和元年度事業計画（案）の説明

令和元年度事業計画（案）について、事務局長から次のとおり説明を行った。

ア 事業活動の企画、実施について

本協議会は事業場における労働衛生管理の向上を図るため、引き続き衛生管理者の支援に努める。本事業計画に基づく事業活動の企画、実施は、会員の協力を得て協議会事業検討委員会と事務局が連携し、次の事業を適切に実施する。

- ・ 総会の開催
- ・ 事業検討委員会を 3 回開催
- ・ 衛生管理者の能力向上教育に関するアンケートの実施
- ・ 能力向上教育に関するアンケートの状況を中央労働災害防止協会全国産業安全衛生大会で発表する
- ・ 会員が実施する研修会等に講師を紹介、派遣する。

イ 衛生管理者の活動する場づくりの促進について

協議会は、中災防主催の全国産業安全衛生大会労働衛生管理活動分科会に衛生管理者による研究発表等がより多く組み込まれるように努める。

ウ 会員の活動に対する援助について

協議会は、会員が各会員傘下の衛生管理者が積極的に意見交換や情報交流が出来る会合の開催に努める。これに要する費用の全部又は一部を援助する。

エ 全国衛生管理者情報交流会

全国産業安全衛生大会第2日目に会員の協力の下に、T H P 協議会と合同で全国衛生管理者情報交流会を開催する。

(2) 令和元年度予算(案)の説明

引き続き、事務局長から、令和元年度予算(案)に基づいて、次のとおり説明を行った。本年度から全国衛生管理者情報交流会を予算に含めるとの報告があった。

収入の部は、中災防からの活動促進費が2,921,000円、衛生管理者情報交流会収入が342,000円、総額3,263,000円

支出の部は、協議会の運営として521,000円、協議会会員への援助として2,400,000円、情報交流会342,000円、合計3,263,000円の支出の予定である。

(3) 議案承認

質問、意見等はなく、第2号議案は承認された。

12 能力向上教育に関する衛生管理者アンケート調査について

事務局より、衛生管理者能力向上教育に関するアンケートの内容及び進め方について報告があった。

今回の調査は、費用削減も考慮して、調査票を中災防HPからダウンロードし、アンケート結果は指定アドレスに送付いただく手法をとることが報告された。

上記の報告に対して以下の意見、質問があった。

- ・この調査をより確実に実施してもらうため厚生労働省の推薦文をもらうこととしてはどうか。(事務局から厚生労働省に相談する旨回答した。)
- ・実施計画の確認があり、依頼文書を6月中旬に作成し、8月末締切にて調査予定である。
- ・成果の公表時期と、回答者あての結果報告時期に係る質問があり、アンケート調査状況の報告を10月の全国産業安全衛生大会分科会で行うことを考えているので、その周辺時期に結果報告をできればと考えている。

13 令和元年全国衛生管理者協議会役員について

事務局より、令和元年度役員案が報告され、了承された。

なお、今期で阿部会長が退任し、新たに中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター所長川本俊弘氏が就任することが報告された。労働衛生調査分析センター所長川本俊弘氏から就任の挨拶、阿部会長から退任の挨拶があった。

上記のとおり、令和元年度全国衛生管理者協議会総会における議事録として承認する。

令和元年6月26日

議 長 阿 部 研 二 印

議事録署名人 大 西 清 印

議事録署名人 安 倍 正 之 印